

# 新時代の教育を支える働き方改革通信

# ~ My Revolution ~

第106弹 (令和6年6月号)

# 校内研修「働き方改革」ガイド

教職員の「働き方改革」に係る意識を醸成するために、校内研修のガイドとして研修例を作成し、Webページに提供しています。原則、STEP 1からSTEP 4の手順で行うことが望ましいですが、それぞれの学校の実態に合わせ、順番を入れかえるなど工夫して計画的に活用してください。

# 校内研修プログラム Web版

<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/hatarakikata/kounaikeishu.html>

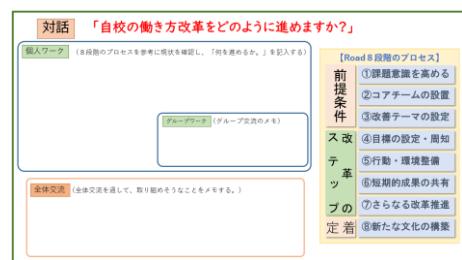


## STEP 1

## 研修テーマ：働き方改革の意義について考える

気付き	『Road』第1章から第3章を読み込む。	(15分)	事前に読み込んでおくことが望ましい
	「働き方改革を進めていくのは、なぜだと感じましたか?」 ・個人で記入する。	5分	・個人ワーク
対話	・記入した内容についてグループで交流する。 ・グループの意見を全体交流する。	15分	・グループワーク (4~5名グループ) ・全体共有
	「自校の働き方改革をどのようにすすめますか?」 ・『Road』第3章の8段階のプロセスを参考にグループで話しあう。 ・グループの意見を全体交流する。	15分	・グループワーク (4~5名グループ) ・全体共有
振り返り	「自校の働き方改革のために、自分は明日から何をしますか?」 ・個人で記入する。	10分	・個人ワーク

～WhatやHowではなく、Whyが大切～

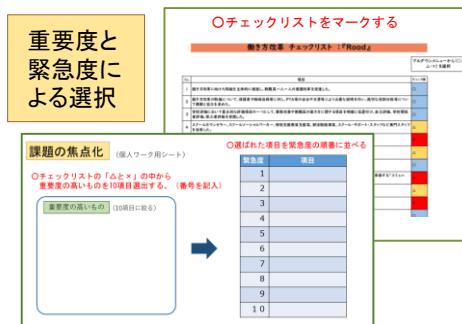


## STEP 2

## 研修テーマ：自校のアクション・プランを作成しよう

気付き	『Road』第7章 チェックリストをマークする。 【改善されたもの:○ 改善途中のもの:△ 取り組んでいないもの:×】	10分	・個人ワーク
	・重要度と緊急度による選択の必要性を確認する ・チェックリストから、重要度の高いものを選択する。 ・選択された項目を、緊急度の高いもの順に並べ替える。	5分	・個人ワーク
対話	・選択した項目をグループで交流する。 ・グループの意見を全体交流する。	15分	・グループワーク (4~5名グループ) ・全体共有
	・自分のアクションを全体で絞り込む。 ・アクションをいつまでに、どのように取り組むか、話し合う。	15分	・全体共有
振り返り	・	・	・
	・	・	・

## 重要度と緊急度による選択

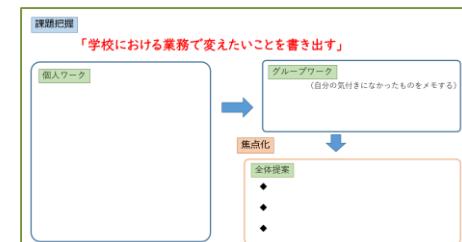


## STEP 3

## 研修テーマ：プロジェクトチームでアクションしよう

課題把握	・学校における業務で変えたいことを書き出す	10分	・個人ワーク
焦点化	・書き出した業務をカテゴライズする。(KJ法) ・カテゴライズした項目を発表し、全体で絞り込む。 →3~5項目に絞り込む	15分	・グループワーク (4~5名グループ) ・全体共有
プロジェクトチームづくり	・カテゴライズした項目毎に、プロジェクトチームをつくる。 ・自分が所属したいチームを選択する。 ・プロジェクトチーム毎にリーダーを選出する。	10分	・全体共有
アイデア創出	・プロジェクトリーダーがチームを招集する。 ・プロジェクトチームでアイデアを話し合い、提案する。 ・アイデアについて、現状、改善策、期間を話し合う。	適宜	・プロジェクトチーム
提案	・提案された改善策を職員会議で提案する。		・職員会議
アクション	・アクション		・全校教職員
振り返り	・取組の成果をアンケート集計し、交流する。 ・修正案、廃止案を検討する。	15分	・全体共有

## プロジェクトチームによるアイデア創出 → アクション



## STEP 4

## 研修テーマ：働きがいのある職場をつくろう

研修の意義	・研修の意義について、解説のシートを読む。	5分	・全体
課題把握	・働きがいについて、理論と現実のギャップを交流する。(口頭)	15分	・グループワーク (4~5名グループ)
業務(タスク)の洗い出し	・今、抱いている業務の中で行き詰まっているものを3つ書き出す。	5分	・自己ワーク
自己分析	・自分の「情熱」「強み」「価値」を書き出す。 「情熱」：仕事に飛ぶ、強い興味、閒かであること 「強み」：スキル、才能など、現在の業務に関して持っていると思われる能力 「価値」：教育入生の「中」でも重要なこと、仕事を通じて最終的に得たいこと	5分	・自己ワーク
業務の見つけ直し	・行き詰まっている業務と「情熱・強み・価値」のつながりから、業務のやり方や量を再検討する。	10分	・自己ワーク
人間関係づくり	・情熱・強み・価値を活かすために、「誰」とどのような関係を作るかもを考える。 <関係の例>親しくなる、連絡し合う、教わる、教える、協力する、縁を切る 等	5分	・自己ワーク
仕事の価値	・手話などでいる業務の意味、意義を心地よい言葉で表現してみる。 <言葉の例>空港シャトルバス運転手→「世界の人々とつなぐしごと」	5分	・自己ワーク
交流	・それぞれの考えをグループ内で交流する。	15分	・グループワーク (4~5名グループ)
働きがいの構築	・やらせ感を感じにくい変わるために、明日からどのような行動を取りますか?助けてくれそうな人は誰ですか? どのようにお手伝いを求めるですか?克服すべき課題にどのように対応しますか?	10分	・自己ワーク
振り返り	・研修を通して、働きがいについて感じたことを記入する。 （明日からの自分の行動をシートに記入ね。（後日）一覧にして 全員にシャアス。）	10分	・自己行動決定 ・全体会議

#### 業務の見つめ直し → 働きがいの構築



校内研修を通して、働くことの意義を確認し、自らの「働きがい」を見つけることができます。